

教育目標

自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

飯小は、この教育目標を理念に、「共に育ち、共に生きる 地域の学校」を目指します。

学校だより
上越市立飯小学校
明治9年8月17日開学
R4. 2. 25
第10号



昼休みの過ごし方

校長 長谷川 和彦



昼休みの子どもたち（2月9日）

学校での昼休みは、子どもたちにとって楽しい時間の1つです。体育館で遊びたい子どもはたくさんいるのですが、学年によって体育館を利用できる日が決まっています。体育館で遊べない日、子どもたちはどこでどのように過ごしているのでしょうか。子どもたちがどのように過ごしているのか校内を回ってみました。

体育館では、1年生が集まってドッジボールのチームを決めていました。会議室では、5年生が回数を数えながら大縄跳びをしていました。児童玄関前の多目的ホールでは、ピアノやエレクトーンを弾いている子どもがいました。生活科ルームでは、2年生が紙コップを重ねてピラミッドを作っていました。図書室では、図書当番をしている6年生と読書をしている5年生がいました。高学年の教室では、トランプをしている子もいれば、読書をしている子、iPadを使っている子など、それぞれが自分の時間を楽しんでいました。

このように子どもたちは、限られたスペースの中で40分間の昼休みを思い思いに過ごしていました。好きなことをして昼休みを過ごすことは、子どもたちにとってストレス解消になったり気分転換になったりします。また、午後からの授業に向けてエネルギーの補充にもなっています。

新型コロナウイルスの急拡大のために、楽しみにしていた教育活動が中止になったり変更になったりして、子どもたちにとって我慢の日が続いています。だからこそ自由に過ごせる昼休みは、のびのびと、ゆったりと過ごしてほしいと思います。安全で楽しい昼休みを過ごせるように、子どもたちを見守っていきます。

新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症による緊急下校と臨時休業、そして自宅待機にご協力いただきましてありがとうございました。また、体調が悪くなった児童の一日も早い回復を願っています。

この度は、濃厚接触者の連絡が遅くなりご心配とご迷惑をお掛けしました。濃厚接触者の特定は、保健所と市教育委員会と連絡を取り合いながら慎重に行うため、時間が掛かります。保護者の皆様へのご連絡が遅くなると、感染の心配やお勤め先への連絡等でご迷惑をおかけしてしまうことは重々承知しておりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

自宅待機中に症状が現れるケースが続いたことから、新型コロナウイルスの感染力の強さを実感させられました。3学期残りの1カ月は、マスク、手指消毒、換気、人と人との接触についてさらに気を付けて学習を進めてまいります。

妙高に行けなかったけど

まん延防止等重点措置のため、妙高で行う予定だった中高学年のスキー教室と低学年の雪遊びが中止となってしまいました。とても残念でした。

そのかわりに、1年生と2年生は、グラウンドで雪遊びを行いました。妙高自然の家でできるダイナミックな遊びはできません。でも、元気いっぱいの子どもたち。雪の中でそり滑りや鬼ごっこ、宝探し、雪像づくりを楽しみました。



命の学習。

5年生は、NPOの滝澤ミチ子さんから、命の誕生についての授業を受けました。受精の仕組みから始まった話は、命の誕生だけにとどまらず、「命に名前をつけるから、『命名』。命につけた友達の名前を馬鹿にしないで大切にしてください」と、いじめをせずにかげがえのない命を大切にしてください、という強いメッセージを子どもたちに伝えてくださいました。

